

地域おこし協力隊 活動報告

安塚区担当 林 克彦

活動地域 安塚区細野

活動期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日



地域おこし協力隊としてのミッション

- ① 交流宿泊施設「六夜山荘」の運営支援
- ② イベントの企画や情報発信
- ③ 集落行事支援





①六夜山荘の運営支援(1)

• 施設管理

- 宿泊施設「六夜山荘」で支配人と共に施設の運営・維持管理業務全般を行った
- 利用予約受付のようなフロント業務や、施設内外の清掃や消耗品の管理などのほか、夏場は草刈り、冬場は除雪等慣れない肉体労働も多かった
- パソコンの扱いに慣れていることから経理や新型コロナウイルス感染症対応休業支援金等の申請・報告業務など事務作業も任され、デスクワークにも注力した
- 他にも給湯器の故障、排水管の詰まりなど滅多にないトラブルも起こり常に仕事の絶えない3年間だった



①六夜山荘の運営支援(2)

- 宴会、宿泊対応
 - 六夜山荘の「顔」として、お客様と直接対面する接客業務は原則として平日、休日を問わず対応した。料理長から調理についても学び、人手の足りない時は調理、接客を1人でこなす機会も徐々に増えていった
 - 人件費削減も考慮して事前準備や後片付けも対応した



①六夜山荘の運営支援(3)



- 仕出し
 - 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて減少した売上を回復させるために任期1年目から仕出し営業を開始した。地元の方々から定期的に注文が入り、現在では売上の約2割を占めるようになった
- 出店
 - 任期2年目には六夜山荘初の試みとして、安塚区の農産物直売所「雪だるま物産館」に出店。六夜山荘の味を地元だけでなく遠くから来ていただいた方々にも楽しんでもらっていた。翌年は安塚区内で開催された花火大会にも出店し、認知度アップに取り組んだ



② イベントの企画や 情報発信(1)

- ほその村キャンプ
 - 上越市地域活動支援事業補助金を活用して「ほその村手ぶらでキャンプ」を開催。遠くは新潟市からも利用客が訪れ、日常から離れた田舎の夜とテント宿泊を楽しんでいた
 - キャンプに合わせ、細野集落を訪れた方に楽しい時間を過ごしてもらおうと同上の補助金を活用して「自然王国ほその村散策マップ」を制作。イベント時だけでなく宴会、宿泊の利用者、たまたま通りかかって足を止めてくれた人にお渡しするなどして細野集落の取り組みに興味を持ってもらえるよう努めた



② イベントの企画や 情報発信(2)

- その他イベントの企画・実施
 - 細野集落が管理している田をお借りして「稲刈り体験」を開催した。市内の親子が参加し、手刈りでの稲刈りや今では貴重なはさ掛け体験を実施。ランチにはもちろん「細野米」を用意し、農と食の体験を楽しんでいただいた
 - 他にも「スノーシュー体験」、「新そば祭り」等のイベントを企画し、集落の方々と実施に向けて取り組んだ



NPO法人自然王国ほの村
ちょっと散策・雪原を歩いてみませんか？
スノーシューを履いて春を探しましょう

【日時】
3月20日(日)
9:00~14:00
六夜山荘~六夜山頂(徒歩)
所要：約2時間以上

【受付場所】
六夜山荘
受付：9:45~10:00

【参加料】
3,000円(税込)
スノーシューレンタル、保険料を含む

【お品書き】
そば(天ぷら付き)
1人前 1,200円
そば(持込盛り2人前)
1パック 1,000円

【申し込み】
先着150食
完全予約制
申込締切日
11月15日(火)

会場・問い合わせ・申し込み先
公益財団法人「六夜山荘」
新潟県上越市東郷区 電話1151-1 URL
http://www.hosonamiya.net

TEL/FAX: 025-832-0898
E-MAIL: info@hosonamiya.net
URL: http://www.hosonamiya.net

FAX事前予約票

氏名		電話番号	
住所			
予約	そば(天ぷら付き)	1,200円	人数
	そば(持込盛り2人前)	1,000円	

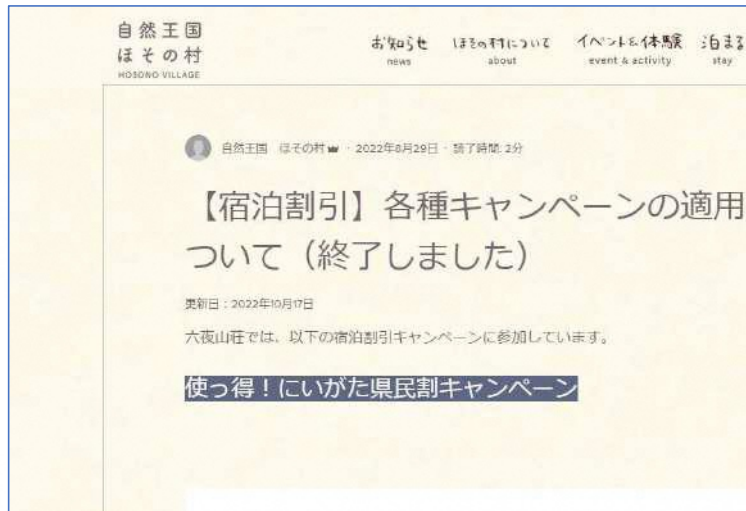
六夜山荘は新潟県の上越市にある自然豊かな集落です。



② イベントの企画や 情報発信(3)

- 情報発信

- 細野集落のイベントや、六夜山荘のイベント、キャンペーン情報はホームページから発信。日常の様子はTwitterやInstagramを利用して発信し、認知度アップを図った。
- 特に宿泊割引キャンペーンへのアクセスが多く、県外からの問い合わせや予約が増え、一定の効果があったと思われる
- 最近ではインバウンド需要の回復の影響か、海外からの問い合わせも来るようになった





③集落行事支援(1)

- 農作業支援
 - 細野集落が管理する棚田での米作りに協力し、田植え、電気柵の設置、草刈り、稲刈りなどの作業をお手伝いさせていただいた。
 - 集落の畑ではカリフラワーや野沢菜の栽培、個人宅でもカボチャの種まきやキュウリの栽培をお手伝いさせていただき、1年を通して農作業を学ぶことで、人間と自然の関わりの強さを感じることができた



③集落行事支援(2)

- 集落行事

- 大きな行事はコロナ禍により中止になってしまった。しかし「灯の回廊」は継続となり、任期1年目から関わらせていただいた。2年目からは当日の六夜山荘の宿泊客を抱え「灯の回廊」の準備と施設の営業を並行する形となり、外で景色を楽しむ余裕もなくなってしまったが、多くの方が足を運んでくれていることを実感でき、今後も末永く続いて欲しいと思う
- 毎年春に開催していた「春の祭典」はコロナ禍により実施できなかったが、代わりに六夜山荘のイベントとして「山菜採りツアー」を実施、古くから細野集落とつながりのある方々からも参加していただいた



その他個人活動(1)

- 積極的に集落の行事に参加して集落の方々と親交・親睦を深めた
- 地元の祭事（賽の神、春の祭礼、秋祭り）にも参加。賽の神は最近少なくなった夜の点火を毎年行っており、柏崎市から写真を撮りに来られる方もおられた





その他個人活動(2)

- にこにこサロン（定期的に開催される地域交流の場）にも参加して、コーヒーやケーキを提供することで同じ時間を共有した
- 他にも安塚区にある直売所「雪だるま物産館」のイベントにボランティアで参加し、商品販売や交通整理、力仕事で協力した。普段六夜山荘に足を運ぶことがないお客様からも激励の声をかけていただき、大きな励みになった



その他個人活動(3)

- 集落の方に田んぼをお借りして米づくりにも挑戦した。初年度は2畝（テニスコートと同程度の広さ）を手で耕し、1俵強の収穫になった。2年目は機械を使い効率化を図ったが残念ながらイノシシに田を荒らされ、約0.5俵の収穫だった。
- 3年目になると六夜山荘の利用客が増え作業を断念したが、集落の方に一から教えていただきとても良い経験になった



3年間の振り返り

- 集落の方々にいろいろな場面で支えられて3年間活動ができたと感じている
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用客が大幅に減り、団体客が戻ってこない状況の中でも、集落の方々と協力しながら売上を伸ばすことができた
- 過去に経験したことのない業務をこなしたり、様々な体験をしたことで、今後の人生の糧になると感じた



今後について

- 今後も安塚区に住み、1人の市民としてこの地で生活を続けていくため、まずは自立して生活できることを目指していく
- 六夜山荘からの収入だけで生活できるまでには至らなかったが、他で収入を得ながら細野集落との交流も継続し、今後も支援活動を続けていく
- これからは協力隊の活動地域以外にも目を向け、細野集落とのつながりを広げていきたい

